

令和8年度 第1回栗東自然観察の森運営委員会会議録

◎ 日 時 令和8年7月30日（木） 13:30～14:40

◎ 場 所 栗東自然観察の森、研修室

◎ 出席者

〔運営委員〕 大谷委員、多田委員、平子委員、清水委員（代理出席 滋賀県生物多様性保全課 武馬氏）、木村委員、飯村委員、奥村委員、神門委員

〔欠席委員〕 松濱委員、伊勢村委員

〔教育委員会〕 今井教育長

〔事務局〕 上村所長、勝山副所長、出口観察指導員、野崎事務員

1. 開会 司会進行・・・上村所長

2. 市民憲章唱和・・・朗読

委員会の公開について

「栗東市附属機関等の会議の公開に関する要領」に基づき本年度第1回運営委員会で「公開する」こと承認。

本日の傍聴者なしを報告する。

3. 教育長あいさつ・・・今井教育長

4. 委員紹介及び委嘱状の交付・・・委員名簿順に自己紹介と委員委嘱状を机上に配置

5. 協議事項

（1）会長・副会長の選出について

飯村会長、奥村副会長賛成多数により選出

（2）令和7年度 栗東自然観察の森 事業報告について

賛成多数により可決

（3）令和8年度 栗東自然観察の森 事業計画について

賛成多数により可決

6. 報告事項

令和8年度 第1四半期来園者数及びイベント実施状況について

内容を説明

（4）その他

・委員報酬の支払いについて

・令和8年度第2回運営委員会について

令和8年2月頃開催予定

7. 議事内容 下記のとおり

(会長)

協議事項(2)の令和7年度事業報告について事務局からご報告をお願いします。

(事務局)

＜協議事項(2) 令和7年度事業報告について(資料1P～4P説明)＞

(会長)

7年度の事業報告等につきまして、ご質問ご意見ございましたらお願いします。

(委員)

2ページの月別の前年度比の表なのですが、12月と2月の来園者が前年度に比べて大幅に伸びています。どのような理由ですか。冬場は少ないと思うのですが。

(事務局)

バイカオウレンが今年、素晴らしく株が増えました。また、フクジュソウ、ユキワリイチゲのファンが多いので、それを見に来られた方が多かったのかと思います。

(会長)

ここは昆虫より植物を見にこられる方が多いですか。

(事務局)

昆虫について声を掛けられることは少ないです。植物については、よく聞かれます。期待するお客さんが多いのは認識しています。

(委員)

何かアナウンスされていますか。

(事務局)

仲間うちでとか、あるいはGoogleで検索して来られる方が多いです。

(会長)

他に何かありますか。ないようでしたら、協議事項(2)につきましてご承認いただいたということで、よろしくお願いします。

続きまして協議事項の(3) 令和8年度事業計画につきまして、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

＜協議事項(3) 事業計画について(資料5P～8P説明)＞

(会長)

ただいまの8年度の事業計画にご意見ございましたらよろしくお願いします。

(会長)

私の方からお聞きします。今の子どもたち、若い子たちはみんな、AI、パソコン、スマホから情報を得ていると思います。8ページの4番、森のPR活動(4)インターネット活用がかなり重要になってくると考えています。この「スマートフォン専用アプリ QRコードを活用した自然動画を紹介します」というのは、具体的にどのようなものですか。

(事務局)

この森ならではの、特に生き物の自然の様子動画を市のYouTubeのチャンネルに登録してあります。YouTubeのアドレスをQRコードに変換して、その動画を撮影した現場に看板を上げてQRコードを貼り付けています。スマホでそのQRコードを読み取ると動画が見られるというものです。

(会長)

それは森を歩いていたらQRコードの看板があるということですか。

そのQRコードを読み取れば自然に動画が出てくるということですか。

(事務局)

森の中にQRコードの看板がありスマホで読み取ると自然に動画が出てきます。市のホームページにYouTubeのページがあってそこから見れます。掲示してあるQRコードからYouTubeのアドレスにたどり着くという仕掛けになっています。

(会長)

ここの森の動画の再生回数は出ますか。

(事務局)

YouTubeの個々の動画の下に再生回数が出ます。

(会長)

市のホームページからはなかなかたどり着けないので、すぐにみられるように検討してください。

(委員)

初めて知りました。良い取り組みだと思います。

(事務局)

オオルリのさえずりであったり、オオタカの幼鳥の様子動画があります。

(会長)

市民は知らないし、どのように知ってもらうか。「観察の森」と入れてすぐにホームページに入れることができればいいのですが。

図書館の蔵書検索したい時は、草津図書館とか栗東図書館と入れるとすぐ出てきて本を調べたりできます。他の自然観察の森と連携しないとできないのですか。簡単にできると思います。そういうことが得意な人がいてくれないと無理ですか。

(事務局)

セキュリティー対策を含めて維持・管理できるものがないので、個々の施設でのホームページが立ち上げられないのが現状です。

(会長)

若者がポスターを見て来ようなんていう感じではないと思います。

だから生物部の高校生を呼んできて、観察してもらって観察結果を広げてもらえたら、栗東自然観察の森を知ってもらえるかもしれません。栗東高校や国際情報の高校に生物部があるのなら来てもらって、観察会をしてもらって、その友達も呼んでもらったら広がっていくと思います。

(委員)

7ページの「啓発イベント等の実施」で各イベントはいろんな形でのボランティアが支えています。そのボランティアのメンバーも年齢層が上がってきて危機的状況です。なかなか新しいメンバーの参加がないのが現状です。

今年、ありがたいことに JVR に大学生が一人、入ってもらえました。若者を増やしたいとサポーターの中でも話をしています。森で何か考えはありますか。

(事務局)

NVR 友の会様には提案したことはあります。具体的に言いますと、年に一度発表会みたいなことをされます。それを公開にして見てもらうことで、メンバーを集めるのはどうです

かと声掛けしたのですが、なされなかったので難しいのかなと思いました。

(委員)

減ってはいきますが増えていきません。

(会長)

私たちの子どもの頃と自然との触れ合い方が違い、若者は自然に親しむことから離れた状態で育ってきています。だから減っていくのは仕方がないと思っています。自然に関心がある人がなかなかいないです。だから、若い力を育てなければいけません。

(委員)

大学生が入られた経緯はわかりますか。なんかそういう関係の大学の学部に行くからと聞いたのですが。

(事務局)

自然観察会に3回ほど来てました。熱心に来るので、当園の観察員がJVRのサポーターにならないかと声をかけました。

(委員)

そういう若者を見つけてハンティングしないといけません。

(会長)

ここの自然の調査をしてもらうという形で大学生や高校生にお願いするのもいいと思います。観察会をしてほしいと言うと抵抗があるだろうし、植生を調べてほしいと言ったら来てくれるかもしれません。その結果を何かで載せて広めてもらえる方法もあるかもしれません。

現在、植物であつたり、鳥、昆虫、爬虫類であつたりの目録みたいなものはありますか。

(事務局)

植物の開花状況一覧というデータベースはあります。昨年、初めてホームページに載せました。毎年、データベースを作るのは難しいかもしれません。

動物のデータベースは3年前から作っています。ホームページに載せる予定ですが、2025年のデータをまとめきれてないという状況です。

(会長)

そういう手伝いを専門の学生にしてもらったら助かるのではないのでしょうか。ある程度の専門家と人数がいなければできないですが、高校生とか大学生とかにお願いしたら他の若い子たちも来てくれると思います。

(委員)

以前、この全域の植生調査を行って報告書をまとめていました。自生植物と導入植物とに分けて 1000 種以上はあったと思います。私もその調査に参加していました。データを残しておくことは非常に大事なことだと思います。

昨年度のこの会で話がありましたが、せっかくデータを取っているのですから自然共生サイトの認定を受けてみてはいかがでしょうか。この森の価値を社会の中で認めてもらえると思います。

昨日、みなくち子どもの森にアドバイザーとして行きました。そこは自然共生サイトの認定を受けています。市全体として自然保護協会の協力を得ながら、重要な場所を設定して今後も保全していく、そういう一つの活動が基盤になって森の価値を高めていくことにもなります。

去年、この森でもウマノスズクサを保全していると報告がありましたが、そういう活動は非常に重要なことで、そういうものを積み上げることによって基盤ができて自然観察としての価値というものを高めていきます。そのためのデータを残していくのは大事なことです。

一人では大変なので先ほど言われたように大学生に来てもらうとか。いろんな方法はあると思います。

(事務局)

市民の方に手伝ってもらって、私が得意分野は昆虫なので昆虫や蝶などの定期観察をやりたいと思っています。

(会長)

そういうものを始めるための第一歩は何でしょう。

(委員)

みなくち子どもの森ではササユリを増やしていくという活動があります。それは直接子どもの森がしているのではなく、レイカディア大学の園芸学科を卒業された方が、卒業後の

活動としてササユリを保全されています。また、守るだけではなく増やすための活動もしています。それが一つの「核」になって水口全域に、さらに甲賀全域に広げていくということにもなります。

新海浜でハマエンドウとハマゴウを守ってる人たちがいます。その方たちもレイカディア大学を出られた方で、自分たちの課題と位置づけて保全活動をしています。そういうことを継続的にしているグループもあります。

この森の職員だけでは難しいです。関心を持っている方はたくさんいますので素材を提供することで、手伝ってもらえると思います。滋賀県立大学の卒業生も多いです。

(委員)

自然共生サイトは県内で18個のサイトあります。龍谷大学や立命館大学は、大学の敷地内の森を自然共生サイトとして認定されています。龍谷大学では来年度から新しい生物多様性に特化した学部が作られる予定で、フィールドを探しておられます。

滋賀県でも昨年度から自然共生サイトをつなげるネットワークみたいなのを作りました。例えばそこへ入ってもらって他の共生サイトがどういうことをしているのか知ってもらえると思います。みなくち子どもの森もネットワークに入っているので最初のきっかけになると思います。

(会長)

観察の森もネットワークに入って、連絡を取り合ってもらったらいいいと思います。

(委員)

最近是企业も関心を持っておられる方がおられます。

(委員)

企業ではないですが、栗東だと走井の集落で、休耕田をどう活用していくかというのが課題として大きく挙がっています。そこで自然共生サイトを取ることで、例えば県外も含めて企業にも入ってもらって、関係人口を増やしていこうという取り組みをしていたりしています。

(会長)

他に何かございますか。協議事項(3)令和8年度事業計画につきましてはご了承いただいたということで次に進めたいと思います。

(会長)

続きまして、6報告事項 令和8年度 第1四半期来園者数及びイベント実施状況につつま

して事務局から説明をお願いします。

(事務局)

＜令和 8 年度 第 1 四半期来園者数及びイベント実施状況の説明（資料 9P～13P 説明）＞

(会長)

報告がございましたが、何かご質問等ございますか。

13 ページの写真、こんなに賑やかに子どもたちがいるとなんとか嬉しい、何をしてる時の写真か説明をお願いします。

(事務局)

左上は JVR 養成講座（小学 3 年生から中学 3 年生が対象）の初回の説明会の写真です。右上はその講座の集合写真です。受講生とサポーター、職員がいます。

今年度の受講生は 20 名です。昨年度から 7 名増えました。

(会長)

増えた理由は何ですか。

(事務局)

昨年度からの継続で来ている受講生もいます。LINE で募集したところ自然に関心のある市民に届いたというのは 1 件ありました。受講しない手はないというぐらいの勢いでした。

(会長)

他にご意見はありませんか。ないようですので 6. 報告事項は終わらせていただきます。

(会長)

次に 7. その他について、事務局から報告事項・連絡事項をお願いします。

(事務局)

＜委員報酬及び次回開催日程についての連絡事項＞

(会長)

特に伝えておきたいこととか意見とかございましたらお願いします。

事務局よろしいですか。他に何かございますか。ないようでしたら本日の会議次第、全て終了しました。事務局にお返しします。

(所長)

会長、ありがとうございました。閉会につきまして副会長よりご挨拶をお願いします。

【奥村副会長あいさつ】

(所長)

以上を持ちまして、令和 8 年度第 1 回栗東自然観察の森運営委員会を閉会させていただきます。本日はどうもありがとうございました。